

るべく内容をふやす方向で書き進めさせる。
(段落のおさえ方、後付けの書き方などを、
個人指導する)

- ⑦ 「言葉」の学習をし、書いた手紙を推考、
清書し投かんする。
- 「言葉」の例文を読み、文のねじれをみつ

ける。自分の手紙に例文のような誤りがない
かどうか読み返す。

- グループで交換して読み合い、誤りを直し
ていく。清書する。封筒の書き方を練習する。
- ⑧ 言葉の学習をする。(テスト)新出漢字
の練習をする。語句の練習をする。
- ⑨ 「言葉のまど3」を学習する。

(5) 学習指導過程

① 本時のねらい

- 主目標 教材文で学んだことをもとに、最初に書いた手紙を書き直すため、組み立てをつ
くることができるようにする。
- 具体目標 ① 教材文で学んだことをもとに、推考の観点をたしかめることができる。
② 各自の手紙を読み返し、どこを書き直したらよいかみつけることができる。
③ 書き直すところを明らかにし、構成メモをつくることができる。
- 準備 O・H・P TP (児童の手紙) トラペンアップ 構成メモ用紙

② 過程

学 習 活 動 ・ 内 容	時間	指 導 上 の 留 意 点 ※評価
1 本時のめあてについて話し合う。 ○ 前に書いた手紙を読み返し書き直すところをみつけること。	3分	○ 本時のめあてを明確にさせる。
2 友だちの手紙をもとに、全員で、どこを どう書き直したらよいか考える。 ○ 段落のまとまりはどうか。 ○ 話しかけるような気持ちで書いてある か。(言葉づかいはどうか) ○ 書く順序はどうか。	10分	○ 教材文や、前時に学習したノートを参考 に考えさせる。 ○ 推考の観点が多くなりすぎないようにす る。 ※ 推考の観点をたしかめることができたか (発表)
3 初めに書いた手紙を、自分で読み返したり、 交換して読み合ったりして、書き直す ところを見つける。	20分	○ 各自の手紙に段落番号をつけて読み返さ せる。 ○ 相手との楽しかった思い出など、共通な 話題なども入れていくよう助言する。 ※ 書き直すところをみつけることができた か。(手紙への書きこみなど)
4 書き直すところをはっきりさせ、組み立 てを考える。 ○ 構成メモへの記入		○ 構成メモをつくることに無理がある児童 には、初めの手紙に直接書き直すところを 書きこませる。
5 構成メモをもとに書き直すところを発表 する。	7分	○ 書き直すところを中心に発表させる。 ※ 書き直すところをみつけ、構成するこ とができたか。(メモ発表、提出させて調べ る。)
6 次時の学習について話し合う。		○ 構成メモをもとに手紙を書き直すこと。